

辺野古埋め立て土砂搬出反対ニュース

北九州連絡協議会《2016年1月16日・No39》

連絡先…森下宏人 090-9495-3902 八記久美子 080-1730-8895



沖縄の新聞から、関連記事をご紹介します

新刊

幸辰

2016年(平成28年)1月14日 木曜日 1版

社会 (28)

辺野古への土砂搬出反対組織

山口で発足へ、全国と連携

地方を



中国新聞

米軍普天間飛行場移設に向けた名護市辺野古沿岸部の埋め立て工事に、山口県の周南市黒髪島と防府市向島で採取された砕石が使われる可能性があるとして、搬出に反対する市民団体



「『辺野古に土砂を送らせない!』山口のこえ」が17

日、発足する。代表に就く大谷正穂さん

(61) 山口県内によると、沖縄防衛局は工事に使う砕石や土砂2100万立方メートルのうち、山口県内の2カ所と福岡県の3カ所の計5カ所で砕石740万立方メートルの採取を予定する。「埋め立てに山口の島の石が使われ」「山口から石が運ばれるのを止めた」と語る大谷さん(右) 13日、山口県庁

ゲート前300人が抗議

きょう、初の早朝行動実施

【辺野古問題取材班】米

軍普天間飛行場の移設に伴う新基地建設計画で13日、名護市辺野古の米軍キャンプ・シユワブのゲート前には午前7時前から最大時で約300人が集まり、座り込んで抗議した。車両の資材搬入などはなかった。市民らは正午すぎ、「工事を一時止めたぞ」と声を上げ、活動の継続や拡大を確

認した。13日は毎週水曜日の総行動に当たり、県議や市町村議らも数多く参加した。今

週から「木曜早朝行動」も計画され、14日が初実施となる。一方、シユワブ沖の海上では長島近くのスパット台船に作業員の姿があった。掘削棒が海中へ下りていたことから、ボーリング調査を進めていたとみられる。

ゲート前から

現在、毎週水曜日は大勢の人が座り込んでいますが、今回からそれに加え、木曜日も大勢が参加する日となりました。その分、工事を送らせることが出来ます。

琉球新報から

山口と沖縄で土砂搬出反対の会が発足

嬉しいニュースです。



山口県は、明日1月17日(日)に発足します。

「本部島ぐるみ」連絡協参加

【本部】本部町島ぐるみ会議は10日の役員会で、地元土砂を名護市辺野古の新基地建設に使わせない活動を行っている「辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会」に加わることを決めた。県内の組織で同協議会への参加は初めて。平良昭一共同代表は「砕石を新基地建設に使うのは許されないとこの立場から、全国の協議会に参加することを決めた」と話した。

発足集会は17日午後5時から、周南市銀座の市仮庁舎(旧近鉄松下百貨店)である。埋め立て予定地近くで座り込みを続ける沖縄平和運動センターの山城博治議長(63)が、現地の状況を報告する。資料代500円。事務局☎090(4802)4787。